

中期標準化戦略(平成30年度重点的取組)

専門委員会名	アーキテクチャ部門 Network Vision 専門委員会	企画戦略委員 正副委員長	上茶 雄(NTT)・中野 裕介(KDDI) 委員長:後藤 良則(NTT) 副委員長江川 尚志(NEC)
Future Networks, with focus on IMT-2020 (ITU-T SG13)、及び、QoSアーキテクチャ(ITU-T SG12)関連の国際・国内標準化についての活動。 CJK IT Standards Meeting 配下 NSA-WG*にて、日中韓(TTC,CCSA,TTA)で意見交換/整合。*NSA: Network and Service Architecture			
重点的取組活動と達成目標、達成時期			
H29年度当初計画	専門委員会 <ul style="list-style-type: none"> • CJK NSA-WGの対処を行う。必要に応じ他専門委員会、AGと連携を行う。 NGNアップストリーム SWG <ul style="list-style-type: none"> • ITU-T SG13会合への事前対処方針審議並びに、寄書審議を実施し、TTCメンバからの提案を調整する。 QoS アーキテクチャ SWG <ul style="list-style-type: none"> • 必要に応じて、NGNの品質情報転送機能の実現方法の標準化に関して、関連委員会と情報交換する。 クラウドSWG <ul style="list-style-type: none"> • クラウド、SDN/NFV関連の技術動向・標準化動向について調査及び、各専門委員会と連携してNFV関係の活動を取り纏め、必要に応じてNFVに関するアップ/ダウンストリームの活動を行う。 NetSoft SWG <ul style="list-style-type: none"> • ネットワークソフト化、Open source関連技術課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリーム活動を行う。 		
H29年度目標達成状況	専門委員会 <ul style="list-style-type: none"> • CJK-16にてNSA-WGは、開催されなかった為、CJK-15以降の活動Reportを入力した。 • 3GPP、MM、アクセスの各専門委員会と連携し、IMT-2020関連の活動状況の共有を継続実施。(5G標準化連携連絡会) NGNアップストリーム SWG <ul style="list-style-type: none"> • ITU-T SG13会合への対処方針審議並びに、寄書審議を通して、TTCメンバからの提案を調整した。 QoS アーキテクチャ SWG <ul style="list-style-type: none"> • SG12等関連標準機関の動向把握を行った。 クラウドSWG <ul style="list-style-type: none"> • NFV等仮想化関連標準化機関の動向把握を行った。 NetSoft SWG <ul style="list-style-type: none"> • NetSoft関連技術の検討を行い、Q21/13提出寄書への反映等内容の深堀活動を実施。 • SG13 11月会合において、日本が中心になって活動してきた、Nwsoft勧告をConsent。(Y.3150) 		
H30年度当初計画	専門委員会 <ul style="list-style-type: none"> • CJK NSA-WGの対処を行う。必要に応じ他専門委員会、他AGと連携をとる。 • 5G標準化連携連絡会の継続実施。 NGNアップストリーム SWG <ul style="list-style-type: none"> • ITU-T SG13会合への対処方針審議並びに、寄書審議を実施し、TTCメンバからの提案を調整する。 • 信号制御専門委員会でのアップストリーム活動(SWG1205)と、連携して活動する。 QoS アーキテクチャ SWG <ul style="list-style-type: none"> • 必要に応じて、NGNの品質情報転送機能の実現方法の標準化に関して、関連委員会と情報交換する。 クラウドSWG <ul style="list-style-type: none"> • 必要に応じて、クラウド、SDN/NFV関連の技術動向・標準化動向について調査を行う。 NetSoft SWG <ul style="list-style-type: none"> • ネットワークソフト化、Slice、Open source関連技術課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリームを行う。 		

中期標準化戦略(平成29年度活動報告)

専門委員会・AG名	Network Vision 専門委員会		登録委員数/会員数	123(5グループ)/20
主な活動項目	概況指標	H29年度目標(当初計画時)	H29年度実施状況	記事
①アップストリーム、 他団体との連携	寄書数	—	・SG13 11月会合:6件	
	外部会合への参加状況、連携状況	・SG13(7月、11月) ・CJK-16(8月)	・SG13 7月、11月会合 consent:Nwsoft勧告(Y.3150) ・CJK-16(8月)	
②ダウンストリーム	ダウンストリーム数	必要に応じて実施	0件	
③国内標準、仕様書、レポートの作成	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	必要に応じて実施	0件/0件/0件	
④プロモーション、普及推進	セミナー	IMT2020関連の検討状況(H29/3Q)	セミナー開催 ・IMT2020関連の検討状況(H30/3月9日開催予定)	
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告:SG13	・TTC Workshop 「Applicationを考える」:Vol32/No.1 ・外部会合: ITU-T SG13 2月会合:Vol32/No.1 ITU-T SG13 11月会合:Vol.32/No.4	

中期標準化戦略(平成30年度活動計画)

専門委員会・AG名	Network Vision 専門委員会		登録委員数/会員数	123(5グループ)/20
主な活動項目	概況指標	H30年度目標(当初計画時)	H30年度実施状況	記事
①アップストリーム、 他団体との連携	寄書数	—		
	外部会合への参加状況、連携状況	・SG13(4月、7月、10月) ・CJK-17(10月)		
②ダウンストリーム	ダウンストリーム数	必要に応じて実施		
③国内標準、仕様書、レポートの作成	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	必要に応じて実施		
④プロモーション、普及推進	セミナー	IMT2020関連の検討状況(H30/3Q)		
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告:SG13		

中期標準化戦略(日本における状況とTTC標準化方針)

専門委員会名	Network Vision 専門委員会	SWG	NGNアップストリーム SWG QoS アーキテクチャ クラウドSWG NetSoft SWG
他標準化団体の動向	<ul style="list-style-type: none"> WTSA-16での決議を受け、2017年より、IMT-2020非無線領域のNetwork ソフト化に関連する、Orchestrator / Slice 等将来網の要件、アーキテクチャ、機能の議論がSG13で開始された。 従来からの課題である、SDN、Big DATA、Cloud、DAN、ICN/CCN等も、継続して研究が行われる。 CJK NSA(Network and Service Architecture) WGにて、各種技術/用途における、中国、韓国との情報交換等を実施している。 NFV、IoT 関連の議論も、今後も継続すると考えられる。 		
日本における状況(技術動向、市場動向、標準化の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> NTTより、固定電話のIP網への移行スケジュールについて、2021年IP接続開始、2024年固定電話切替開始、2025年切替完了のスケジュールが公表された。(2017年10月17日) スマートホンの普及を受け、ブロードバンドユーザ数は16,627万(FTTH、DSL、CATV、FWA、BWA、3.9-4世代携帯電話アクセス加入者数の合計)、そのうちFTTHは2,970万、3.9-4世代携帯電話アクセスは、10,678万である。 (H29/6月末総務省データより) 5G Mobile、IoTを対象とした有線最適制御型基盤技術の研究開発/検討が活発化。(総務省施策より) 		
TTCの標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> NGN及び将来網への影響という観点で、Internet of Thingsの概念の明確化や網インパクトの評価など、検討を行う。 SG13の将来網関連の課題はじめ、SG13へのアップストリームを総務省と連携して継続実施する。 SDN、NFV等の含む、ネットワークのソフトウェア化課題、Open Source等の調査、情報収集/分析、検討と アップストリーム等の活動に対応する。 SG13勧告のダウンストリームの一環として、TTC会員要望に応じて検討する。 ITUの検討状況に応じて、既に規定したTTC標準ならびに技術レポートの更新も検討する。 CJK NSA-WG対応を本専門委員会で実施し、必要に応じ他専門委員会と連携をとる。 信号制御専門委員会でのSG11へのアップストリーム活動と、引き続き連携して活動する。 		